らしっくレポート ひろ記者が行く

今回は、「大人のかくれ家倶楽部」の活動を取材しました。

光り輝く高齢者が、古墳出土の山麓の「かくれ家」で遊ぶ!!

レポーター ひろ記者 新宮原 充、高村秀樹、南 薫史

「大人のかくれ家」のたき火と、〈光輝高齢者〉が熱い!

樹齢40年、直径30センチ近い杉の林の間から、白い煙が目に入る。ここは「大人のかくれ家倶楽部」の遊び場。安佐北区の中小田のバス停から数分歩いた、松笠山の登山道の入口にある。

「たき火があったかいですよ」。

皺の刻まれた笑顔の木戸敏明会長が出迎えてくれた。

▲かくれ家の入口に立つ木戸会長

入口には、手作りのピザ窯、炭焼き窯、その前には生きた木を柱にした竹組のスタードーム、中心にはたき火。そしてテラス、坂の上にはツリーハウス、トイレまで完備している。敷地200坪は、まるで映画のワンシーンだ。

この倶楽部は、平成16年に広島市口田公民館に8人の団塊世代が集まり「仲間づくり」「自然再発見」をテーマとし意見交換。翌平成17年12月に「大人のかくれ家倶楽部」が誕生。

今の活動テーマは、わくわくドキドキする楽しい活動、〈里山整備と地域の交流〉。会員は31名（女性は10名）、平均年齢74歳と〈光輝高齢者〉後期高齢者の集団だ。森のコンサート、シイタケ栽培、ピザ焼き体験、カブト虫博士になろう、自然観察と史跡探訪など、タイトルだけでドキドキする活動をしている。他、子どもの遊び場活動プレイパークと共同のイベントや、中小田古墳遊歩道の整備、などなど盛りだくさんの活動も。

共同活動できる団体の情報、倶楽部の新会員も募集中!

この会の基本の集会は第1土曜日、第3月曜日の月に2回。会員の会費年間2千円と、例会費を合わせて活動をする。

「これからの新計画は、水車と巨大滑り台の設置」と会長。

水車はかくれ場へ行く小道の横に流れる小川にかける予定。もう設計図もできあがり、ダミーの木組みが始まっている。滑り台は周りの杉の林を利用する計画という。共同活動できる団体の情報、新規入会員の募集は、いつでも、だれでも…大募集という。申し込みは、口田公民館［☎082-842-7744］、木戸会長［☎082-842-0885］まで。

▲かくれ家の全景。左手前はツリーハウス。奥はスタードーム。右奥はテラス。

「ひろ記者」とは、市民自らが地域のまちづくり活動やイベントなどを取材し発信していく、広島の市民レポーターです。
▶http://www.city.hiroshima.lg.jp/hirokisha/

らしっくコラム Rashikku column

with-withな地域

西広島駅は南北自由通路を造る改修工事が予定され、将来はアストラムラインの延伸先となっており、地域が変わっていく局面に向き合っています。さてどのように変わっていくのでしょうか。現在でもJR、路面電車、バスなど交通の結節点として利便性がよく、JR西広島駅の乗降客数は宮島口駅よりも多くなっています。しかし利用者の多くにとっては通学や通勤等で通過するだけの地域になっており、居住・滞在したり、ここを目的にやってきたりということは少ない状態です。そのようななかで、交通網がさらに便利になりその先に魅力的な施設や目的地ができた場合、もっと通過するだけになってしまう恐れがあります。そのため他のまちと同じに見えてしまう再開発ではなく、独自の開発や地域の歴史・特性を生かしストーリー性をもった個性のあるにぎわいを今のうちにつくっていく必要があると考えます。そんな思いを持って学生たちは広島市西区地域起こし推進課とともににぎわいづくりに取り組み、広島修道大学三浦ゼミの学生が整備したまちかど研究室「こいけん」を拠点にさまざまな活動が進行中です。

例えば魅力的な地域資源の一つである秋祭りはマンションの2階まで届く大きくて優雅な櫓（やぐら）が特長です。その櫓がまちのなかを練り歩く姿を見てもらえればこの地域にもっと興味を持ってもらえると学生は分析しました。そこでもっと多くの住人や多世代の方に見てもらえるように、櫓の通過ルートのマップを作成し、その発信の方法を検討しています。他の学生は、実は西広島駅周辺は学生にとって住みやすい地域なのではという仮説をたて、「一人暮らしINDEX」を作成、他のまちと比較し、不動産業者と共有しました。また地域の方と民泊研究会を立ち上げ、Airbnbの地域ぐるみでの導入やゲストハウスの可能性を検討し共有するなど地域の方と一緒になって考えています。他にも盆栽・居酒屋テイクアウト文化・鯉にまつわる歴史に着目した取り組みも継続中です。

今後はより多様な人を巻き込み活動をすること、自分のことと思いながら活動してくれる人を増やすことが目標です。これは西広島駅周辺に限らず、広島の多くの地域に当てはまる課題なのではないかと思います。その解決には包摂的な雰囲気が重要です。学生において考えるとその身分に甘えず一般市民に認めてもらえるように質を高め、またどなたでもウエルカムな場づくりをしなければなりません。

時には本質を見据えた上で、これまでの価値観と異なる場も必要です。最初は地域の方からは受け入れられないかもしれません。その時も地域の方と対話を重ね、デザインの力を活用しながら共有し、経済面や利害関係だけのwin-winの関係ではなく、地域の未来を一緒になって継続的に良いものにするwith-withな互恵関係をつくっていければと思います。

Profile
広島修道大学 人間環境学部／ひろしま未来協創センター
木原 一郎 講師
■専門領域：建築設計、都市環境デザイン、地域コミュニケーションデザイン
2014年4月より広島修道大学のCOC事業「イノベーション・ブリッジによるひろしま未来協創プロジェクト（ひろみらプロジェクト）」の地域イノベーションコースにてPBL型授業、サービスラーニング型授業、ポートランドでのセミナーを担当。

ようこそ! 勤労青少年ホームへ

～広島市勤労青少年ホーム～

今号は広島市勤労青少年ホーム（ユーストピア）で活動している皆さんをご紹介します。

1 プッチうるし蒔絵職人
中央勤労青少年ホーム

私達の教室は、うるしを使って、蒔絵を描く教室です。

蒔絵とは、うるしで絵を描き、金や銀を巻きつけることからついた名前です。そういった日本の伝統技術を楽しく学ぶ教室です。その技術を、お盆やお椀などに描いていきます。時には、作り上げた作品を展示会に出したり、花見で作った作品を使い楽しんだりもしています。

新しく友達を作り、日本の伝統文化を学んでみませんか？毎週木曜日午後6時半から9時まで活動しています。見学からでも大歓迎です。新メンバーお待ちしています。

2 古武道サークル
中央勤労青少年ホーム

私たち古武道サークルは、中央勤労青少年ホームで槍（やり）や剣術（けんじゅつ）、柔術（じゅうじゅつ）といった珍しい武術を稽古しています。映画や漫画などで登場するサムライは槍や刀を使いますが、それを本当のところはどのように使うのか稽古するのはとても面白く、運動にもなります。歴史も学べますし、柔術などは知っておくと身を守るのにも役立ちます！

運動として武術をしてみたい、歴史やサムライ、刀剣に興味がある方は、ぜひお気軽にお越しください！武道未経験の方も楽しくできるようになります。

戦国時代からそのまま伝わる主に槍や剣術で汗を流し、楽しく稽古してみませんか？隔週の土曜日午後6時からと水曜日午後7時から稽古していますので、見学や体験にぜひお気軽にお越しください！

3 chit chat club
安佐勤労青少年ホーム

「chit chat club」は結成して5年目になる英会話サークルです。サークル名の「chit chat」は、日本語に訳すると「雑談をする」という意味で、メンバー同士が気軽に英語で雑談できるようにと思いを込めてつけられました。

アメリカ出身のネイティブスピーカーの先生から、毎月第2・第4火曜日の午後7時半～9時の間、英会話を学んでいます。先生のジョークを交えながらのレッスンはとても楽しいです。

定例のサークル活動以外では、英語で洋楽を歌ってみよう（1曲だけでも可能）という企画を立て、毎回好評を頂いています。

英語や英会話に興味がある方は一度体験にいらしてください。

4 セカンド・ムーブ
安佐勤労青少年ホーム

セカンド・ムーブは、サックス・トランペット・トロンボーンのホーンセクションにギター・キーボード・ベース・ドラムス・パーカッションのリズムセクション、そしてボーカルで構成されており、ジャズ・ラテン・ロックなどあらゆるジャンルに挑み続けています。

年に5～6回あるステージは、安佐南区音楽祭やユーストピアフェスタのほか地域のイベント出演、そして自ら主催する「セカンド・ムーブライブ」は23回を数え、毎回ご好評をいただいております。

そんなセカンド・ムーブも只今メンバー絶賛募集中!! 特にサックス・トランペット・トロンボーン…ぜひ一緒に楽しいステージを創りましょう!! 定例活動日は毎週火曜日午後6時～9時です。

5 ミラクルショット
佐伯勤労青少年ホーム

平成28年の「初心者のためのバドミントン講座」をきっかけに結成し、現在男性3人、女性4人で活動しています。近所でバドミントンショップを経営されているコーチ指導の下、現在ダブルスの試合が出来るようになることを目標に練習中です。

講座をきっかけにバドミントンを始めた人ばかりなので、まだまだ全員初心者ですが、練習は皆とてもまじめに取り組んでいます。ただ、同時に笑いやおしゃべりも絶えず、いつも楽しく活動中です。

また、あるきっかけで昨年度から42.195kmリレーマラソンにも参加しており、日々の仕事での運動不足解消も図っています。

メンバーも常に募集中で、活動日は火曜日午後7時～9時（月2回）です。一緒に楽しくスポーツしませんか？

勤労青少年ホーム（ユーストピア）ってどんな施設？

勤労青少年ホームは、勤労青少年が各種講座・サークル活動、行事などを通じて教養を高めるとともに、お互いの親睦を深め仲間づくりを行う施設です。仕事や就職などキャリア形成に関する相談や、職場での人間関係に関する悩みなどの相談事業も行っています。「ユーストピア」は広島市内3か所にある勤労青少年ホームの愛称です。

サークル活動や講座に参加するには会員登録が必要です。会員になれるのは、広島市内に住所又は勤務先を有する15歳から35歳以下の勤労青少年。また、市内に在住か通学の18歳以上の大学生等及び広島市の近隣市町に在住の勤労青少年と大学生等もサークル活動等へ参加できます。（高校生以下の学生は対象外です。）

サークルや会員登録についてのお問い合わせは、各勤労青少年ホームへお願いします。

❶❷ **中央勤労青少年ホーム（ユーストピア中央）**
広島市中区八丁堀3-2　☎082-222-2513
http://www.cf.city.hiroshima.jp/yt-chuo/

❸❹ **安佐勤労青少年ホーム（ユーストピア安佐）**
広島市安佐南区大町東3-25-12　☎082-879-1512
http://www.cf.city.hiroshima.jp/yt-asa/

❺ **佐伯勤労青少年ホーム（ユーストピア佐伯）**
広島市佐伯区新宮苑11-43　☎082-922-8424
http://www.cf.city.hiroshima.jp/yt-saeki/

人材バンク

名人 宝人 達人

さまざまな分野の達人たちが登録しているまちづくりボランティア人材バンク。
地域活動やまちづくりのお手伝いに、
今日も、あなたのまちを達人たちがおうかがいしています。

Interview 1

絵本たねまき塾　代表　大平（おおひら） 秀雄（ひでお）さん

世代を超えて楽しめる“絵本”を通して、子どもから大人まで想像力や感性を豊かに

代表の大平秀雄さん

絵本の読み聞かせを通して、子どもたちをはじめ、大人にも絵本が持つ魅力や、不思議な力を伝えていきたいと絵本文化を地域に普及させる活動に取り組んでいるのが「絵本たねまき塾」です。

代表の大平秀雄さんは元小学校教員。退職後の人生について考えていた時に、国立青少年教育振興機構が平成26年に創設した「絵本専門士」を紹介した新聞記事を読み、「これだ!」とひらめき、すぐに資格取得を決意。半年間、東京に通って資格講座を受講し、平成28年に広島県内初となる「絵本専門士」としての資格を取得しました。

大平さんは、絵本は親と子どもを結ぶ心の広場であり、心と言葉を豊かに育ててくれるツールになると考え、その趣旨に賛同した、自身が最後に勤めた舟入小学校の図書ボランティアの人たちと「絵本たねまき塾」を結成しました。平成29年に人材バンクに登録、11人が在籍し、大平さんを中心に活動しています。

▲小学校での読み聞かせの様子（平成30年1月竹屋小学校）

▲ワークショップの様子（平成29年2月）

読み聞かせでは、大平さんが所有する約300冊の絵本やメンバー個人が所有する絵本、図書館から借りた絵本などから、参加する人に応じて作品を選んでいるそうです。活動は、公民館や小学校、図書館での週2、3回の絵本講座や絵本の読み聞かせ講座、ワークショップを開いている他、地域の子育てサロンや地域包括支援センターでも開催しています。

「さまざまな場所で、子どもから大人まで世代を超え、絵本の読み聞かせをすることで、絵本がご縁でつながる人が増えていくのを感じています。絵本は同じストーリーでも、絵が異なれば、感じ方も違います。また絵本によって多様な世界を知ることができます。数多くの絵本に触れる機会が増えれば、読む人、聞く人の感性も磨かれ、視野や可能性も広がります。デジタル化が進み、アナログでの活字離れが進む今の時代だからこそ、私たちが絵本の読み聞かせを通して、聞き手の想像力をかきたて、感性のたねまきを行う意義は大きいと考えています」。

絵本専門士となったことで人生観が変わり、熱い使命感を持って日々の活動に取り組んでいる大平さんと「絵本たねまき塾」の皆さん。「今後は、各地域の図書館とも連携し活動範囲を広げていくのと合わせて、絵本フェスタ等のイベントを企画し、あらゆる世代の方が絵本と出会える機会を創造し、その魅力を伝えていきたいですね」と、今の活動に満足することなく、今後についても大きな夢を語ってくれました。

▲千田公園他、色々な公園で不定期に行っている「出前絵本たねまき広場」の様子

Interview 2

悠久の会　代表　藤村（ふじむら） 久美子（くみこ）さん

さまざまな響きで聴く人を魅了する津軽三味線 その魅力を伝え、人材育成にも取り組む

日本文化である、津軽三味線の魅力を伝えるために演奏活動をしているのが藤村久美子さんが代表を務める「悠久の会」です。

「元々、保育士として働いていた私は、平成5年に広島市女性指導者海外派遣団の一人として韓国を訪れ、そこで自国の文化を大切にする韓国の人たちの姿勢に共感。帰国後、自分も改めて日本の文化を学び大切にしたいと考えるようになり、その中で出会ったのが津軽三味線でした」と藤村さん。箏を弾く義母の勧めもあり、津軽三味線を習いたいと思うようになったそうです。

平成7年に津軽三味線の団体「村上三絃道」の指導者と巡り合い、以来20年に渡って師事します。

長い歴史を持つ津軽三味線のルーツは諸説あり、撥（ばち）を皮に叩きつけるように弾いたり、掬（すく）ったりしながら、その合間に指で押したり、弾いたりするのが特長で、戦後の民謡ブームに乗って全国的に普及。「津軽三味線の演奏は、三味線だけを弾く独奏主体のスタイルと、民謡の歌い手の伴奏をするスタイルの二つに分かれます。どちらも、それぞれ弾く難しさがあり、どう奏でるときれいに、妖艶に聴こえるのか、常に考えながら弾いています。もちろん流派によって弾き方も異なりますよ。だから、きれいに弾けた時の感触は感慨深いですね」藤村さんは津軽三味線の魅力について語ります。

▲韓国・釜山での洋画展オープニングセレモニー出演の様子（平成28年12月）

平成28年に、自ら指導者となり、「悠久の会」を結成して人材バンクに登録。現在は、小学生から70代の方まで幅広い年齢の、初めて三味線に触る人たちに、長い歴史を持つ津軽三味線の魅力を知ってもらいたいと指導、活動を続けています。演奏する曲は、津軽五大民謡「津軽じょんがら節」「津軽おはら節」「津軽よされ節」「津軽あいや節」「津軽三下り」をはじめ、全国津々浦々の民謡。藤村さんとメンバーは毎週練習に励み、地域のデイサービスセンターや作業所、地域企業の慰労会などでその腕前を披露。平成28年には、韓国・釜山で公演する機会にも恵まれ、外国の方々にもその魅力を伝えることができ、喜んでもらったそうです。

代表の藤村久美子さん（中央）

「今後は、私が津軽三味線に出会って師匠に教えてもらい、ここまで弾けるようになったのと同じように、今一緒に演奏している人たちはもちろんですが、初歩からソロができるまで長い目で人を育てて、津軽三味線の輪が広がっていくことを願っています」と藤村さんは、将来について語ってくれました。

▲JR芸備線開通100周年イベント出演の様子（平成27年5月狩留家駅）

まちづくりボランティア 人材バンク達人を 紹介してもらうには…

まちづくりボランティア人材バンクは「自分の知識や技術を活かしてボランティア活動をしたい」達人と「ボランティアで来てほしい、教えてほしい」団体・グループとをつなげるシステムです。

現在260名余りの達人が300件を超えるボランティア活動で登録しています。年間350件程度の達人紹介の申込みがあり、日程や活動内容等の条件が整った約300件が活動につながっています。

地域活動や手作りイベントなど市民の皆さんが活動する中で、「お願い!達人」という時は、お気軽にご相談ください。

1. 人材バンク紹介申込書の作成
どういう団体・グループが、いつ、どこで、誰を対象に、何をする行事なのか、希望する達人を所定の申込書へ記入します。決まっていない項目は空欄のままで大丈夫です。
※紹介申込書は、人材バンク登録内容リストや当プラザHP、ひろしま情報a-netから入手できます。
※申込書の作成が難しい場合はご相談ください。

2. 合人社ウェンディひと・まちプラザへ申込み
当プラザへ、FAX、Eメール、郵送、窓口へ持参のいずれかで申込書を提出します。初めて申し込まれた団体や詳しいことを確認したい時には、当プラザより連絡をさせていただくことがあります。

3. 当プラザから達人へ連絡・調整
紹介申込書の提出後、希望する達人へ当プラザから打診の連絡をし、紹介の可否を確認します。(連絡・調整には、1週間程度かかります。)

4. 申込団体へ達人の連絡先をお知らせ
達人紹介の内諾が得られたら、達人の連絡先をお知らせします。達人との直接のやり取りのスタートです。速やかに正式な依頼の連絡を取りましょう。

5. 活動・イベント等の準備と実施
実施に向けて、達人との十分な打合せを行いましょう。しっかり相談すれば、お互いに良いアイデアが生まれます。いよいよ、活動・イベントの実施です。

6. 活動報告アンケートのお願い
活動終了後、当プラザよりアンケートをお送りします。実施結果や感想、写真、配布資料等を報告してください。その後の紹介に大変役立ちますので、ご協力お願いします。

まちづくりボランティア 人材バンク発表会

ボランティア登録者が自らの達人ぶりを披露します。気軽にお立ち寄りください。

●開催日／毎月第4土曜日（午後）
●場　所／南棟1階ロビー
●参加費・申込／原則不要

※当バンクは、政治、宗教、営利目的の活動での利用はできません。
※達人紹介は、団体・グループからの単発な活動に限ります。個人活動や長期継続活動への紹介はできません。
※達人は、実費弁償ボランティアとして活動します。交通費、資料代、材料費等の実費は、申込団体にご負担いただきます。

開催日時	内　容	出演者名
4月28日(土) 14:00~15:30	大正琴アンサンブルコンサート	大正琴サークル広島スィートボイスハープス
5月の人材バンク発表会はお休みします。		
6月23日(土) 13:00~14:30	マレーシアを知ろう　民族衣装の紹介 ほか	三木 洋子さん
7月28日(土) 14:00~15:30	まちづくりボランティア演芸大会	人材バンク登録者が多数出演予定

※内容・出演者は急遽変更になる場合があります。

ボランティア紹介・登録などのお申込・お問い合わせは…
合人社ウェンディひと・まちプラザ　☎(082)545-3911 FAX(082)545-3838
（まちづくり市民交流プラザ）